

 <p>ライフアートコミュニティ佐保の里 通所介護・訪問介護・居宅介護支援</p> <p>佐保の里たより</p>	 	<p>ディサービスセンター佐保の里 〒630-8105 奈良市佐保台2丁目902-241 電話：0742-70-5020</p> <p>青山ディサービスセンター 〒630-8101 奈良市青山4丁目3番 電話：0742-23-1020</p> <p>菅原ディサービスセンター 〒631-0842 奈良市菅原町298-1 電話：0742-53-2020</p> <p>新大宮ディサービスセンター 〒630-8115 奈良市大宮町3丁目4-18 電話：0742-30-3560</p> <p>ホームページ http://www.lifartcommunity.com</p>
---	--	--

～福祉に携わるにあたり～

日ごとに秋が深まってまいりましたが、皆様お元気でお過ごしのことと存じます。私は、この福祉事業の株式会社ライフアートコミュニティのグループ会社の株式会社ライフアートプランテック(建築内装工事事業)の顧問として一昨年よりグループの一員となっております。

前職は、小売流通業で40年余り携わってきており、この福祉事業は全くの未経験の領域でした。

ライフアートコミュニティ佐保の里の事業内容や、日々の業務などは会議や日頃の社内コミュニケーション等を通じて、日常の福祉活動や各センターでの出来事や課題、取組を伺ったり、また、この「佐保の里たより」でご利用者様のインタビュー記事など、いつも興味深く読ませていただいております。

私ごとですが、現在、義母が85歳で、堺市の自宅でホームヘルパーさんの支援と、週6日のディサービスでお世話になっております。義母は、一昨年の夏頃までは少し血圧が高い程度で、足腰も非常に丈夫でした。歯も全て自分の歯と健康そのもので、息子・娘の各家の近隣に一人住まいしておりました。

一昨年の年末頃より、言動や様子が少しおかしい事が散見しましたので、専門医に診断していただくと、「アルツハイマー型認知症」を発症していることが分かりました。

その後の投薬治療効果も難しく、進行が更に進み、一人での生活が難しくなってきましたので、昨年4月頃、治療受診病院にケアマネージャーさんを推薦していただき、家事等の訪問介護支援及び、通所介護サービスを受けようと相談しました。義母の症状としては、記憶障害・幻覚妄想により、今まで本当に温和な性格でしたが、衝動的な言動や特に、些細な事で不機嫌になったり、怒りだすなど易怒性が激しくなり、外部の方(ホームヘルパーさん)の訪問やディサービスを拒否したり、また、順応できるのか等、当初は大いに危惧しておりました。ところが、ホームヘルパーさんやディサービスの方々の義母への接遇の仕方がとても良かったらしく、個人名で各々を呼んだり、全く当初の不安は杞憂に終わり安堵しました。併せて私共家族の負担の軽減や、安心感はとても大きく実感した次第です。

この私共の経験では、ケアマネージャーさんのご配慮のお陰で、本当に良い訪問介護や通所介護の両事業所にお世話になれたと感謝しております。これらの事業所の選択は一般素人では知識乏しく、困難でありケアマネージャーさんが義母と何度も会い、症状などをじっくりと確かめてから、規模でなく親身になって介護支援していただける、義母に最適であろうと自信をもって薦めていただいた両事業所でした。

今回痛感したのは、ケアマネージャーさんの介護支援事業所の特性把握(設備・人材・サービス等)と共に、各事業所とケアマネージャーさんの日頃からのコミュニケーションの重要性です。特に、利用者さんとの接遇や新しい取組などの情報等がすみやかに、正しく伝達できるコミュニケーションのネットワークが必須との思いを再認識した次第です。

今後とも、皆様のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

株式会社ライフアートプランテック
顧問 紫垣 暁男



レクリエーション

今年も残すところあとわずか、デイサービスでは恒例行事が盛りだくさん!!
各センター楽しく、思い出に残るイベントをご紹介します。



敬老会 お食事会



コスモス ドライブ



運動会



自慢のご利用者様

青山ディサービスセンター

木津川市在住

増本 サダ子 様 81歳

昭和10年7月5日生まれ

どんなお洋服も素敵に着こなす増本様。
週3回ご利用くださり、周りの方も増本様の
コーディネートをいつも楽しみにされています。



増本様をご紹介

奈良市内ご出身で、7人兄妹の3番目としてお生まれになりました。ご兄妹皆仲が良く、今でも91歳になるお兄さんとは連絡を取る仲だそうです。ご家族はご主人と息子さん、お嫁さん、お孫さんお2人と同居生活をされており、お孫さんお2人は、お仕事と学校の関係で今は離れて暮らしておられますが、お正月やお盆など、年に何度か家に帰って来て、元気な姿を見せてくれますとおっしゃっていました。



増本様は、今から16年前の年末に家の用事を済ませ、気持ちよく年始を迎えようと思われたところ、朝起きると顔が浮腫んでいると、ご家族の方から言われ、検査をした結果、「膠原病」と診断されました。原因不明で4度の入院を繰り返されましたが、現在はご病気と上手くお付き合いをされ過ごしておられます。

活発でチャレンジャー



ゴルフ場のキャディーさんとして「加茂カントリー」や「レイクフォレスト」でお勤めをされました。ご自身もゴルフをされており、キャディーさん仲間と楽しくラウンドをされていたそうです。

勤務中にお客さんが打ったボールが頭に直撃するというハプニングがあり、一度はキャディーのお仕事から離れた頃もあったそうですが、再度お声がかかったこともあり、23年間定年まで勤めあげられました。

その後、まだまだ活動の場を広げ楽しみたいということで、60歳になった頃にお友達とお2人で、車の免許を取りに行かれました。ゴルフカートを長年運転されていたご経験を生かし、見事一発合格をされ、免許を取得されました。

ご旅行もお好きで、ハワイ2回、北海道3回、九州3回と思い出作りを沢山されています。

ご家族の方の協力があって

ご主人は腰を悪くされ、手術をされた後、8年前からディサービスセンター佐保の里に週6回来てくださっています。ご自身も、家に居ると病気のことをつい考えてしまわれることを心配されたお嫁さんが、ディサービスを勧められ、女性の利用者さんの多い、青山ディサービスに通われることになりました。当初は2回のご利用でしたが、現在は3回来てくださり、お友達も増えて楽しく過ごされています。



女性の身だしなみをいつも心得ておられ、大阪にある美容院に2カ月に1度行き、お手入れされています。息子さんは親孝行出来る時にしたいと送り迎えをしてくださったり、月に1度のお墓参りも欠かさずされているそうです。又、週に1度の病院受診はお嫁さんが常と一緒にしてくれるので、病院にも行けるし、心強いですと嬉しそうにお話しして下さいました。ご家族の方の支えがあって、不自由なく暮らせている事に大変感謝をされていました。

これからも気持ち良くご利用していただけるように支援させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

貴重なお時間をありがとうございました。

インタビュー:黒瀬

HURマシン HEALTH & FITNESS EQUIPMENT

今回はトレーニングマシンについて紹介したいと思います。それぞれの施設には4つのHUR(フー)マシンが配置されています。そのうち3つは共通のものです。筋力トレーニング機器としては非常に優れたマシンです。

HURマシンの優れた特長

①エアー(空圧)式による負荷設定

- 座ったままボタンを押すだけで自由な負荷調整が可能
- 低負荷から高負荷まで1kg単位で設定可能
- 衝撃がなく、静か(衝撃音がない)
- 安全(重り、ケーブルによる危険性がない)

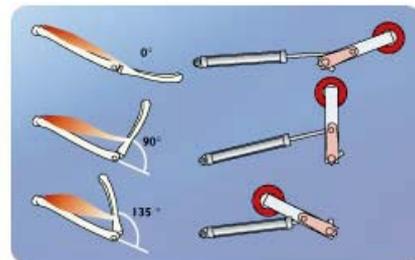


簡単な
ボタン
操作

②ナチュラルトランスマッション機構

- ヘルシンキ工科大学と共同開発
- どの速さでも安全に効果的に運動が可能
- 空圧シリンダーは筋肉と同様な配置がされており、関節可動域全域において人間の筋出力と同様な力が発揮できる。

筋肉と同収縮のシリンダー配置



③人間工学に基づいたデザイン性

- 人間工学に基づいた設計
- 1台約0.8㎡とコンパクト(床面積)
- 椅子の高さは平均45cm
- シンプル設計



④優れた安全性

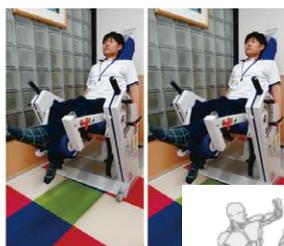
- 優れたバックサポートによる腹圧軽減
- バケットシートでの運動中の体幹の固定
- 高速・低負荷運動にての過負荷防止
- 関節可動域制限機能(痛みのない運動範囲の設定)

レッグ プレス

レッグ カール
エクステンション

アブダクション
アダクション

チェスト プレス



ライフアートコミュニティ佐保の里
リハビリ室 室長 谷本 俊宏
理学療法士 上東 剛志

学習療法開始して・

こんな変化がありました!!

平成28年の4月から、4施設にて学習療法を開始させて頂きました。当初は「学習療法」ってなに？頭の体操ってどんな効果があるの？などご利用者様、ご家族様は半信半疑でしたが、約半年が過ぎ、ご利用者様に対して当初よりどのくらい効果があったのか？学習診断を実施しています。その中には脳の活性化が進み、学習診断にて顕著に能力が高まったりされた方も散見されます。また学習を続けることで時間にメリハリが芽生え、「帰りたい、帰りたい」と言う帰宅願望で落ち着きの無いご利用者様がゆっくり時間が待てたり、大変穏やかになられた事例も数名おられます。今回はどんな変化があったのか！少しご紹介させて頂きます。



四つの変化



①会話が成立してきました

デイサービスの利用時表情が硬く、どんな事でも指示待ちであったり、無表情なご利用者様が、ご自分の方から会話され、言葉のキャッチボールが出来るようになられ、「今日は体操の時間何番目？」など意欲的に変化されました。

②表情が柔らかくなられ、笑顔がふえました

レクリエーションに参加頂けなかった方が、レクリエーションに意欲的に参加して下さるようになられたり、カラオケのレクには人前で歌を唄って下さる、また学習中には計算や数字板の学習がお得意で、実践士から「今日もタイムが更新されましたね！」とお話させて頂くと満面の笑みで「そうか・・・」などとても嬉しそうなお顔をされるなどの変化も沢山みられています。

③帰宅願望が減り、穏やかに過ごして頂ける様に

デイサービスに着いて、間もなく、自宅に用事があるから帰る、送ってほしい、等の落ち着きの無い言動のある方が学習療法を開始してからは、穏やかに順番が待てたり「帰りたい」、「車呼んでくれ」などの発言が少しづつ減っていかれたという変化がありました。

④排泄の失敗が減ってきました

ご自宅でもトイレの失敗やお声掛けしないと排泄行為まで至らなかつたり回数が頻回であった男性の方が、ご家族様から促されなくても、ご自身で用が足せる回数が増えてきた等の変化についてご家族様からお喜びの声を頂きました。



・・・ 気を付けたいこれからの感染症 ……

まずは予防対策……

- ① 予防注射は早めに接種
- ② 人込みや不特定多数(繁華街)の外出は控える
- ③ 外出時は出来ればマスクを着用
- ④ 室内では加湿器等で、適度な湿度を保つ
- ⑤ 十分な休養、バランスの良い食事
- ⑥ うがい、手洗いの励行
- ⑦ 咳エチケットの実施



咳エチケットとは……

- ** 咳・くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ1m以上離れる。
- ** 鼻汁・痰などを含んだティッシュを直ぐに蓋つきの廃棄物箱に捨てる環境を整える。
- ** 咳をしている人にはマスクの着用を促す
- ** マスクの使用は説明をよく読んで、正しく着用する。



ライフアートコミュニティ佐保の里
統括施設長 山口 涼子

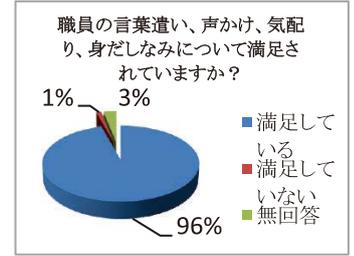
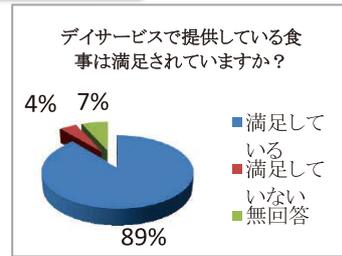
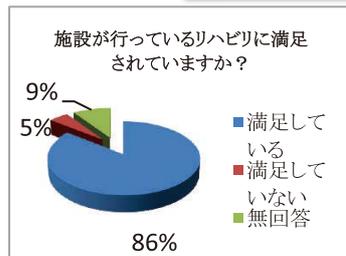
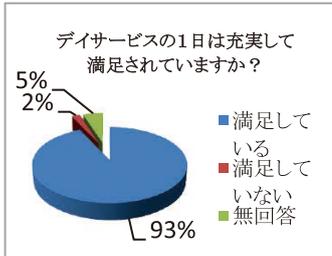


掲 示 板

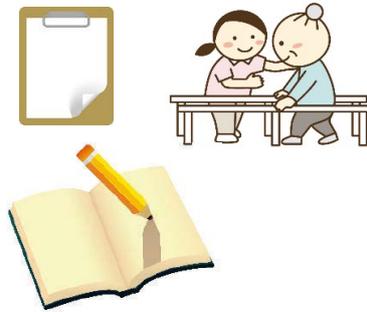
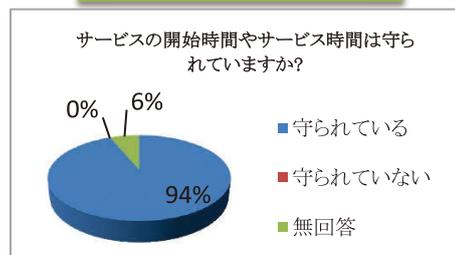
ご利用者様アンケートの実施

「佐保の里」グループ6事業所では、平成28年8月ご利用頂いていますご利用者様に、佐保の里が実施しているサービス等についてアンケートを実施しました。今回は、デイサービス4施設のアンケート集計4項目と訪問介護事業所、居宅介護支援事業所各1項目のアンケート結果を掲載させていただきました。数パーセントのご利用者様が「満足していない」というご意見を真摯に受け止め、ご利用者様、ご家族様から頂いた貴重なご意見・要望を改善いたしまして、ご利用者様に満足していただけるサービスを実現いたします。また、社会問題となっております認知症予防・改善に「学習療法」を取り入れ積極的に取り組みます。

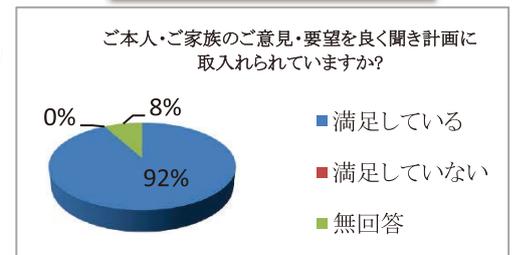
デイサービス



訪問介護事業所



居宅介護支援事業所



マネジメントレビュー

ライフアートコミュニティ佐保の里ではISO9001の品質マニュアルに基づき、年2回(4・10月)9項目について理事会でマネジメントレビューを行うことが定められています。平成28年10月の理事会で、佐保の里グループ6事業所から報告された、平成28年4月から9月までの6ヶ月間の各項目について事務局より説明を行いました。

平成28年8月に実施しましたご利用者様アンケート結果より、ご利用者様からのご意見・ご要望、ヒヤリハット報告、苦情報告、各事業所からの提案等について報告を行い、理事長はじめ各理事よりご利用者様に関わることから優先して改善するように指示をうけ改善を行っています。また、各設備の改善等は計画的に行います。

ご利用者様からのご意見・ご要望、各事業所で起こっている問題等をスピードをもって取り組み、ご利用者様に満足していただけるサービスの提供を実施いたします。

消防訓練の実施

佐保の里グループでは、ご利用者様に安全で安心してご利用いただくため、消防法に基づき10月に消防訓練を、職員で元消防署員の指導のもと実施いたしました。避難訓練ではご利用者様にご協力いただき無事実施することができました。ありがとうございました。



佐保の里避難訓練



消火訓練



菅原デイサービス避難訓練

管理者・リーダー研修の実施

佐保の里グループの今後の事業展開を踏まえ、管理職層の教育に重点を置き、ライフアートプランテック(親会社)と合同で、10月30日、11月6日に管理者・リーダークラスの社員に、マネジメント能力に加え、人間関係、組織的な運営能力の在り方等、多様化、量の拡大化に対応する能力を目指し人材の育成に努めてまいります。

